

しまね い き い ねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<https://www.teiju.or.jp/>

2018

12月号 Vol.128



今月の見どころ

P1. 「地活っちゃんが行く！」
元記者に教わるプレスリリース入門講座レポート

P2. 新メンバー紹介、しまね田舎ツーリズム県内研修会・
成果の導きだし方セミナー報告、オールスター祭告知

P3. 助成金・イベント情報

P4. 島根で頑張る人
大根島の農漁業を考える会
柏木 利徳 さん



第29回
地活っちゃん
がいく!

元記者に教わる プレスリリース入門講座

レポート



当財団では11月6日、12日にNPO法人江の川鐵道の森田一平氏を講師に招き、『書いてもらう』ではなく「書きたい」と思わせる！元記者に教わるプレスリリース講座』と題して、元記者の視点から「どうすれば新聞記事になるのか」お話し頂きました。その中から、すぐ活用できそうなヒントをご紹介します。団体の活動やイベントを地域の人に知ってもらいたい方、メディアに取り上げてもらいたい方、必見です！

記者に「書きたい」と思わせる題材

- 社会性、社会の課題解決につながる →単なるPRにとどまっていないか注意
- “初”島根県で初めて、山陰で初めて…など →その根拠もあわせて説明
- あの〇〇さんが△△な思いで▽▽に取り組むなど、
その人の人生の深み、取り組みの良さといった物語、奥行き
- ギャップ 「農ギャル」 →通常ない組み合わせはニュースを面白くする
- トレンド 「〇〇女子」、「しまねっこ」…など →見出しになる
- タイミング、節目 「〇万人達成」、「〇周年」…など →その期間にどんな社会的役割を果たしてきたのかなど、数字の経緯・背景も書こう



▲講師の森田一平氏



▲2会場で52名参加

「伝えやすい」プレスリリースの形式

- タイトル →フォント・サイズは本文のものを変える
- 趣旨・狙い(1H) →社会性・社会の課題解決につながるもの
- 内容の基本的事項(5W) →いつどこで誰が何をなぜするのか、
個人情報~~は~~本人の同意を得て盛り込む、いつ取材に来て欲しいのか明確に
- 1枚紙でおさめ、詳細は別途添付
- 素材に使える写真を添付
- 記者が連絡した時につながる連絡先を載せ、問合せに親切に対応

発表する時期も大事！
(いつ記者が記事に書いても良いように少し早めに出しておいて、
問合せに答えていこう)



記者はいい記事を書きたい！
記者がどう思って記事を書くのか
を考えて、「思い」、「愛情」をこめて書こう♪



自分達の思い
共感
社会性

3つが組み合わせさった時、
ニュースになる！



財団からのお知らせ

新メンバーを ご紹介します！



ふじはら しょうこ
藤原 星子 主事（主担当：社会貢献）

11月より、地域活動支援課に新たな仲間が加わりました♪
みなさん、どうぞよろしくお願いいたします！！

①好きな言葉(座右の銘)は何ですか？
“初志貫徹”

②休日の楽しみは？
趣味のボルダリングと音楽鑑賞。

③みなさんへ一言コメント！

この度採用いただき、当財団の職員となりました。主に社会貢献を担当します。
地元島根県がより魅力的になるよう、日々努力いたします。よろしくお願いいたします！



しまね田舎ツーリズム県内研修会

美濃地屋敷で学ぶ漆器と配膳

10月30日(火)、益田市匹見町の旧割元庄屋美濃地屋敷にて、しまね田舎ツーリズムの第5回県内研修会を行いました。母屋と米倉は1855年に改築された当時のまま残っており、たたら製鉄で栄えた美濃地家の豊かさを今に伝えています。今回の研修では、美濃地家に伝わる約250年前の漆器を使用し、漆器の使い方、お膳の並べ方、仕舞い方などを学びました。漆器を暮らしに取り入れるヒントを頂きました。

※第6回目の研修会は、12月6日(木)に出雲市のたまちハウスで「田舎ツーリズム施設でワークショップを開こう！」をテーマに開催を予定しています。

レポート



▲美濃地屋敷

次回研修会
の詳細は
こちら ⇒



しまね田舎ツーリズムポータルサイト「おいでよ！しまね」も是非ご覧ください。(http://www.oideyo-shimane.jp)

成果の導きだし方ワークショップ

石川孔明氏を講師に招き、今年度2回目の成果の導きだし方ワークショップを開催しました。11月10日(土)はNPO法人NPO-MASUDAが歴史や資源を活かして観光客を誘致する事例を発表し、11月11日(日)はNPO法人くらしアトリエが島根を知る・学ぶ・楽しむ施設『シマシマしまね』の運営事例について発表しました。両事例の「関わる人・モノ」、「実施したこと」、「人やモノの変化」を検討することで成果が何かを学び、参加者が自団体についての成果を導き出すワークを行いました。

レポート



▼セミナーの様子



今年もやります！ 地域づくりオールスター祭！

各地の取り組みを
学べる大チャンス！

日にち：2019年2月9日(土)

会場：島根県立農林大学校(大田市波根町970-1)

対象者：地域づくり団体やNPO法人のみなさん、地域づくりに関心のある方など



年度末の大イベント、地域づくりオールスター祭の開催日が決定！
今年は大田市での開催となります。詳細は近日公開予定ですので、みなさまお楽しみに！

今月の和歌

花の名を 次から次へ 知ったのは 農家に嫁いで 自然に抱かれて (島根県安来市 角森玲子さん)

第2回農業・農村はかっこいい！和歌募集 入選作品



2019 年度 しまね文化ファンド助成事業

- 締切日:平成30年12月20日(木)当日消印有効
- 対象:主に島根県内の民間団体が自主的に行う文化事業で、一般に広く開放して実施されるもの(地域文化振興・芸術文化振興・国際文化交流)
- 助成内容:対象経費×1/2以内(10万円以上10万円単位)
※総事業費50万円以下の場合、10万円以上5万円単位の申請可能
- 問合せ先:(公財)しまね文化振興財団公益信託しまね文化ファンド
TEL:0852-22-5500 FAX:0852-22-6412
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3960>



(公財)ヨネックススポーツ 振興財団 2019 年度 助成金

- 締切日:平成30年12月20日(木)当日消印有効
- 対象:青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自らの活動、かつその活動を3年以上継続して実施している団体(スポーツ振興を主たる目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人、他特定非営利活動法人等)とします。
- 助成内容:1つの事業予算の1/2(上限100万円)以内
- 問合せ先:(公財)ヨネックススポーツ振興財団 事務局
TEL:03-3839-7195 FAX:03-3839-7196
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3955>



(公財)双日国際交流財団 2019 年度 国際交流助成

- 締切日:平成30年12月22日(土)当日消印有効
- 対象:海外に於ける日本理解の増進に寄与、貢献する業務及び事業。具体的には日本の政治、経済、文化、その他日本の一般事情の紹介に係わるものとし、2019年4月～2020年3月までの間に実施される事業。
- 助成金額:1件あたり10万円～80万円程度
- 問合せ先:(公財)双日国際交流財団
TEL:03-6871-2800 FAX:03-6871-5561
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3965>



(一社)中国建設弘済会 「中国地方地域づくり等助成事業」

- 締切日:平成30年12月28日(金)必着
- 対象:国土交通省が実施する施策や整備事業等に関連し、中国地方の社会資本整備に繋がる地域づくり、環境保全及び防災等に関するボランティア活動に対し、助成を行う。
- 助成金額:1件当たり上限を100万円
- 問合せ先:(一社)中国建設弘済会 島根支部
TEL:0853-20-7133 FAX:0853-20-7131
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3962>



(公財)杉浦記念財団 第8回 杉浦地域医療振興賞

- 締切日:平成30年12月31日(月)
- 対象:研究者、専門職(医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護福祉士等)、その他(自治体、NPO、ボランティア等)の方で、全国に波及する可能性を有する活動を行っている団体・個人。但し、その活動が現在も継続しているものに限る。
- 褒賞:正賞として記念品 副賞として200万円
- 問合せ先:(公財)杉浦記念財団
TEL:0562-45-2731 FAX:0562-45-2732
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3964>



平成31年度 新たな支え合い ファンド助成事業の募集

- 締切日:平成31年1月18日(金)必着
- 対象:地域住民が主体となり生活支援サービスを提供する団体(助成先は市町村社協となります。サービス実施団体への間接助成は可能です。)
- 助成金額:市社会福祉協議会…上限400万円
町村社会福祉協議会…上限200万円
- 問合せ先:島根県社会福祉協議会 地域福祉部
TEL:0852-32-5997 FAX:0852-32-5982
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3958>



「かえるくん・かえるくん」 人形劇団ひぼぼたあむ

- 開催日時:平成30年12月10日(月)11:00 開演
- 場所:松江市民活動センタースティック5階交流ホール(松江市白潟本町43番地 STICビル)
- 内容:原作はオランダの美しい絵本。幼い人もお膝の上で安心して見られるように、静かなピアノ曲にあわせて丁寧につくりました。大切な小さな人へ上質な人形劇をプレゼント。
- 料金:親子ペア券1,000円 子ども券300円 大人券800円
- 問合せ先:NPO法人おやこ劇場松江センター
TEL/FAX:0852-22-4937
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3882>



平成30年度 ボランティア コーディネータースキルアップ研修

- 開催日時:平成31年1月10日(木)、1月11日(金)
- 場所:いきいきプラザ島根1階 共用会議室(松江市東津田町1741-3)
- 内容:「ボランティア活動の『見える化』」をテーマに、「記録・統計・評価」と「情報の発信」にポイントを置いて学ぶことを目的に開催します。
- 参加費:500円/1名 ※参加申込み必要
- 問合せ先:島根県社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉係
TEL:0852-32-5997 FAX:0852-32-5982
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3880>

島根で 頑張る人

大根島の魅力を再開発

大根島（松江市八束町）は、全国一のボタンの生産地であり、シーズンを迎える4～5月には、全国から多くの観光客が訪れる。そんな大根島で生まれ育った柏木さん。仕事に精を出す日々を過ごしていたが、ある日ふと自分の家の畑に目をやると、そこにはボタンの華やかさとはほど遠い荒れ果てた土地が映った。島のメイン道路沿いにありながら、とても観光地にふさわしいとは言えない景色。意識して辺りを見渡すと、あちらこちらにある耕作放棄地に気が付いた。「大根島は荒れ放題」そんな危機感が美しい大根島復活を目指す活動のきっかけとなったという。

実働となると、広い耕作放棄地を相手に1人動いただけでは進まない。そこで周囲に声をかけ、開墾し畑を作り、できた作物を販売するというサイクルを作り出すことから活動をスタートさせた。

しかし、意欲はあっても活動の継続に不可欠なのが収入の確保。また、作物を大規模生産し、耕作放棄地を開墾する上で、地域内の協力体制や情報共有も課題となった。それでも、柏木さんの「今でできることできないこと」の判断力と決断力が、会の活動を力強く後押しした。

収入面は、地元産品に着目。みつ芋アイスや焼酎など地元で収穫できる野菜を使った商品開発、赤貝など中海の恵みを使った加工品の製造・販売によって、旬に限らず一年を通して安定した収入が得られるように工夫した。

加えて、柏木さんたちの常に先を目指

す姿勢は、周囲の人たちをポジティブにした。こうした取組が、地元の団体や企業、小売店等とのつながりや、お互いの活動支援・協力体制を構築するきっかけとなり、活動の周囲には、いつしか支えあいの輪ができていた。

的確な判断や決断は、時間や費用のロスを減らすだけでなく、作業委託や商品流通、人材交流等において強固なネットワーク形成ができる要因かもしれない。

今では、複数の団体に所属し大根島の活性化に向けて様々な取組をしている柏木さん。今度は株式会社を立ち上げ、観光の側面から島の魅力を多くの人に伝えたいと考えている。これは最終ゴールではなく、あくまでも前に進むためのステップ。今、自分たちが活動できているのは、60代以上の退職した世代に頼り、甘えることができているからだという。だからこそ、地元の企業として地元住民が働ける環境をつくり、自立を目指している。

柏木さんが信念とするのは「仕事は楽しむこと」。その原動力は、一歩一歩進み、目標に到達した時の達成感。「だからこそ、どんな仕事でもできる」「どうせ働くなら楽しい方がいい」と笑顔で語る。「この島が、住む人、訪れる人にとって魅力溢れる居場所となるように頑張りたい」その表情からは、島への愛が伝わってくる。

“We Love Daikonshima!” 柏木さんの熱い想いは多くの人の共感を得て美しい花を咲かせるだろう。(T)



大根島の農漁業を考える会 柏木 利徳 さん

1955年、松江市八束町生まれ。高校を卒業後、県外で就職するが、Uターンし、松江市内の小売店に勤務。2010年に耕作放棄地対策を目的に「大根島の農漁業を考える会」を設立。その後、農地利活用や地域振興を目的とした諸団体立上げに参加。

主な活動

平成27年度地域づくり応援助成事業（事業化支援公益重視型）、平成28年度地域づくり情熱人支援事業採択団体。現在、大根島で活動する団体に複数所属し、ウィーラブ大根島プロジェクトリーダーとして今年度、会社を立上げ、ツーリズム計画で大根島をPRする予定。



▲耕作放棄地での作業



▲商品開発品、加工品の製造・販売品

県内NPO情報 H30.10.31現在

1	県内NPO法人数	全体	285
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		1
3	解散NPO法人数		1
4	しまね社会貢献基金登録団体数		64
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	45
		内レベル2	33

●今月の新設NPO法人

NPO法人出雲市空き家相談センター（出雲市）

主な活動：空き家問題等を解決に導くシステムを構築し、子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすく安心して安全な魅力あるまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

（しまね県民活動支援センター）

【松江事務局】

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692

E-mail : chiiki@teiju.or.jp

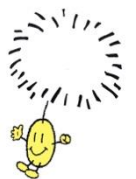
【石見事務所】

〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク

浜田 2階 石見産業支援センター「いわみぷらっと」内

TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630

E-mail : iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中！
しまね県民活動支援センター
（ふるさと島根定住財団）で
検索してみてください♪

県民活動応援サイト Shimane IKIKI Hiroba
島根いきいき広場

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>